

# 看護大通信

64



師の話やドイツに留学して見聞した貴族社会の

毎月、看護講習会を開き、受講生に修了書を授与し、戦時救護活動に参加するなどの活動も行っている

基礎看護学領域教授

堀 良子

世間一般の「看護」に対する考え方はひどく遅れており、これによって金

救護活動への協力ぶり、看護は進歩的婦人の職業として尊いものであることの認識などを背景に、

したが、それらは日露戦争当時までで、その後の活動は包帯材料などの寄贈や寄付、慰問活動の占める割合が増えていった

篤志看護婦人会の初代総裁は有栖川宮親王妃董子、会長は鍋島侯爵夫人栄子でした。なぜ、上流貴婦人で構成する篤志看護婦人会が必要だったのでしょうか。

金をもらうなど賤業であるという見方が強かったのです。女性 は 家庭内で看病こそすれ、女性の職業進出そのものが希少で

りが集まる条件づく

ようです。(続く)

か。結成の経緯や

## 日本赤十字篤志看護婦人会(その2)結成の主旨とその活動

そのねらいは、当時の時代背景を反映してとても興味深いものがあります。

あつた当時、汚物処理などを含む看護の仕事は婦人の新しい職業として、

りが進められました。そこで、皇室をはじめとした貴婦人層に呼びかけ、プロではない無給有志からなる篤志看護婦人会が

日赤誕生の前年、博愛社は戦時の救護看護婦の養成を目的の第一として病院を設立しました。し

しかも国策の一部として養成を行うのは大問題、と考えられたのではないでしょう

て県支会はその地域の

かし、どのように看護婦養成を開始するかが大きな問題でした。その当時、

しかし、ナイチンゲールは貴族の出身でした。また、来日した外国人医

日赤篤志看護婦人会は

日赤篤志看護婦人会会員記章

